

授業改善プラン

地域名	東上総教育事務所	学校名	九十九里町立豊海小学校
-----	----------	-----	-------------

1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

○算数科の図形領域（図形を構成する要素に着目したり考察したりすること）に課題が見られた。このことから、図形を構成する要素を理解するとともに、移動や変形をさせてできる図形について判断したり、説明したりする力を身に付ける必要があると考えた。

2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

○ICT を効果的に活用し、お互いの考えを共有したり、比較検討したりすることで、根拠を基に表現する力の向上を図ることができるだろう。

3. 具体的な実践

- 県の施策である『『思考し、表現する力』を高める実践プログラム』をもとにして、ICT を効果的に活用した授業改善を行う。
- 「自分で取り組む」の場面においては、主体的に解決方法を選択できるようにするためにデジタル教科書やワークシートをデータで配付し、作業時間を短くして試行錯誤しながら、思考する時間を十分に確保する。
- 「広げ深める」の場面においては、自分の考えの根拠を説明する際に相手を意識して視覚的に伝えたり、比較検討したりしながら考えを深める。
- 「まとめあげる」の場面においては、本時のふりかえりの際に ICT を活用し、即時共有化と他者参照により自分の考えを表出しやすくし、次の学習につなげていく。

4. 成果

○ICT を活用したことにより、算数科における「数学的な見方・考え方」を働かせた主体的・対話的で深い学びを展開することができた。学びの質が高まったことで児童が根拠を基に自らの考えを表現する力が向上した。

◆担当指導主事から

○「算数科における思考し、表現する児童の目指す姿」「振り返りの視点」「ICT 活用能力学年別体系表」を作成・活用することで、学校全体で目指すべき児童の姿を具体的にもち、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた実践が行われた。また、『『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』の各過程で ICT の効果的な活用が図られ、主体的に考えたり根拠を基にわかりやすく表現したりしようとする児童の姿が見られた。